

コミュニティ・スクール事業

子どもを育む地域のチカラ



地域力を学校教育に

地域で子どもたちを育てる一。

この想いのもと、積極的に学校教育に携わる人たちがいます。それは「学校支援ボランティア」という活動です。

時には元気にあいさつをする近所のおじちゃん、おばちゃん。時にはそろばんや習字を教える先生。時には子どもたちを交通事故や危険なことから守るスーパーマンのような人たち。自分が持つ特技や時間を活用し、地域の子どもたちが笑顔で、元気に、間違っただ道に進まないよう見守り、学校の時間割には収まりきれないほどの成長や学習を手助けしています。地域の人たちが持つ力を、教育に活かそうという活動が学校で行われています。

今回はそんな教育の一端を担う地域の人たちの活動を紹介します。



公民館講座で学んだ「書道」を子どもたちに楽しく伝えていく

平成11年から公民館講座で書道を習い始め、今では5段の段位をいただいています。学んでいるうちに小学校からお話があり、7〜8年前から子どもたちに習字を教えるようになりました。手に手を添えて、子どもたちと触れ合いながら、正しい書き方を練習しています。みんな素直でかわいらしい子たちです。

初めてボランティアに参加する時はすごくプレッシャーを感じましたが、一度参加してみるとすごく楽しかったんですね。

1日あたり2時間の授業で月1、2回参加しますが、毎回あつという間に時間が過ぎます。それに、授業に参加するわけですので、子どもたちと一緒に自分も学ぶこともでき、目からうろこの経験をさせていただいています。

集中力がつく習字は、心を落ち着かせることもできます。このボランティアが子どもの成長に繋がるとてもうれしいです。



かねこ フム子 さん
(宮 園)